

## 知事と区市町村長との意見交換会(八王子市)

令和2年10月16日(金)  
16時20分～16時40分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 今日は八王子からお越しいただきました。ありがとうございます。平素より様々な御協力、御理解いただいております。ありがとうございます。

コロナとの戦いがこう長くなりますと、いろいろ課題も出てきておりますし、あとウィズコロナでどうやって生きていくかというのが求められているところです。また、東京都として長期戦略を描いていくわけでありませうけれど、やはり構造改革を進めながら長期の見通しをどうつけていくかというのは、大きな課題であります。

そういう中で今日は八王子市における様々な課題と、そしてまた将来に向けての展望等も、短い時間ではございますが、伺いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○**行政部長** それでは石森市長、御発言をお願いいたします。

○**八王子市長** どうもこんにちは。今日はこのような機会をいただきまして、大変ありがとうございます。今日は隣に保健所長、渡邊所長も御一緒させていただいております。

○**知事** ありがとうございます。

○**八王子市長** 今年の4月から東京都の方で出向派遣していただきまして、仕事をさせていただいております。大変難儀な状況でございますけれども。

○**知事** いろいろ聞かせてください。

○**八王子市長** はい、そうですね。後ほどまた情報交換をしていただければと思います。

昨年のこの会でございましたけれども、私の方から日本遺産の認定についての御支援をお願いをさせていただきました。お陰をもちまして、今年の6月に東京都では唯一となりますけれども、高尾山を中心とするストーリーになっておりますが、日本遺産に認定されました。引き続き八王子の豊かな歴史文化、こういったものを活かしながらまちづくりをしていきたいと思っておりますので、是非東京都からも様々な御支援をいただければと、そういうふうに願っております。

それでは早速、本日の要望に移らせていただきます。今回はコロナ対策の両輪であります感染拡大防止と、地域経済の活性化をテーマに、3点の要望をさせていただきます。

まず一つ目がGIGAスクール構想に係る都との連携でございます。二つ目が地域医療体制の整備。そして三つ目が都資産の利活用による地域の促進。この3点でございます。

まず一番目の学校ICT環境の整備についてでございますが、GIGAスクール構想におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施していただいた学習用端末や通信環境整備、ウェブ会議システムの導入・支援につきましては大変有効であり、支援に感謝

を申し上げたいと思います。

本市におきましては、GIGA スクール構想の早期実現として、令和2年度中に児童生徒一人1台の端末整備を予定しております。今後、整備した端末を活用するための事業支援ツール及びドリル型学習コンテンツの利用や、導入した機器等のメンテナンス等には多額の費用が掛かることが分かっております。こうした課題を解決していくための継続的な更なる人的財政支援の拡充、これを要望させていただきます。

続いて地域医療提供体制の構築についてであります。今後、インフルエンザの流行を見据えて、発熱の原因が特定できない患者がまず診療する1の赤い所でございますけれども、診療・検査医療機関については、都において既に募集をさせていただいておりますけれども、この医療機関の十分な数の確保をお願いできればというふうに思います。

また、せっかく1の機関が確保されても、地域の医療機関と連携しなければ、発熱者の一人一人の対応を十分に果たしていくことができません。そのために、少し上になりますけれども、2に示すとおり、都医師会から八王子市医師会に働き掛けていただく等して、地域の医療機関に十分な情報が適宜適切に行き届くよう、診療検査医療機関との間でのスムーズな連携が必要となります。

都としての医療施設、医療施策体制における役割や補充を明確にしながら、連携の仕組みを確立していただきたいと思います。本市におきましても、広報やホームページ等で市民に広く周知をまいります。

また、3の地域の医療機関につきましては、市が実施する休日、夜間診療体制の確保に当たり、単価や箇所数等がかかり増し経費が発生することが見込まれますので、こちらの支援も是非お願いできればというふうに思います。

次のスライドでございますけれども、検査体制の充実につきましては、本市でも写真にある八王子市PCR外来を5月に開設をいたしまして、これまでに1,000人を超える検査を行ってまいりました。

本市は保健所設置市として、言わば入口となる検査体制と、出口となる療養環境。そしてそれぞれの情報をスムーズに把握することができ、バランスの取れた対策を行ってまいりました。

療養環境の情報につきましては、保健所を設置している自治体であるからこそ、その実情を掴めた状況にあるというふうに思います。この度、東京都では本市からの要望を踏まえまして、多摩地域の他市においても、9月末からホテルにおける療養施設を開設していただいたところでありますが、今後、検査体制と併せて、出口となる療養環境についても、重点を置いて整備をしていただきたいと思います。

次に移りますが、東京都の資産の利活用の促進についてでございます。ポストコロナ時代を見据え、心豊かに安心して暮らせる住環境の整備や、市民が実感できる新たな土地利用による地域活性化は、一層重要になると考えております。

大谷町でございますけれども、ここは小宮公園の隣になります。ひよどり山に位置する約25ヘクタールの広大な公有地がございます。この公有地につきましては、平成12年

の三宅島噴火に伴う避難民向けの三宅島元気農場の開設以来、都と市が連携し、農とみどりの防災空間として活用しております。当地は令和2年6月に東京都の東京農業アカデミー、八王子研修農場が開校しております。今後も農とみどりの空間として、ひよどり山保全とともに、都民が憩い、学び、過ごせる、都市農業公園の実現に向け、潤いのある都市空間として利活用できるよう、今後も御協力をお願いできればというふうに思います。

続いて、本市の加住町・宮下町地区につきましては、都との新滝山街道の開通を契機といたしまして、地域住民とともに地区まちづくり推進条例を活用した、土地区画整備事業によるまちづくりの検討が進められる等、地域においてその機運も年々高まっております。

地域活性化に向け、土地を有効に活用していくためには、本地区のおおむね半分を占める所有地の利活用が大変重要となります。引き続き、民間活力による所有地の利活用の実現に向けて、官民ともに推進していけるよう、今後のロードマップを示していただく等、連携・協力を賜りたいと思います。

続いて都営団地の建て替えに伴う創出用地についてでございます。都の2020年に向けた実行プランに位置付けられた都営長房団地につきましては、契約に基づき、現在スーパーマーケット、ホームセンター等も含めた複合施設が建設中でございます。市民は来春のオープンを心待ちにしております。

本市には今回の長房団地や中野団地等の建替え事業による創出用地がまだ複数箇所ございますので、これらについてもこうした地域の活性化に資する利活用も、早期実現を要望したいと思います。

最後に日本遺産についてでございますが、日本遺産は認定によりスタート地点に立つことができました。今後、いかに文化財を活かした地域づくりや、多摩の魅力向上を図っていくか、重要となります。

その厚生文化財となった滝山城跡につきましては、大部分が都立滝山公園となっております。更なる魅力向上を図っていくためには、文化財保護法に基づく保存活用計画の策定が不可欠であると考えております。是非計画を策定し、遺跡としての整備を進めていただきたいと思いますが、本市としても最大限に協力してまいりたいと思います。

また、高尾山や八王子城跡等、自然公園や所有地に関わる部分もございまして、利活用の促進をお願いさせていただきたいと思います。私からは以上でございます。よろしくお願いをいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いをいたします。

○知事 市長から3点の御要望や、また御報告等ございました。まず一番目のICT環境、学校ですね。教育現場でのICT活用というのは今回、休業時間がかかなりあって、そういう中でTOKYOスマート・スクール・プロジェクトも一気に加速させることになったわけでありませう。

今日もデジタル庁の準備に取り組んでいる平井大臣の所にまいりまして、今後のICT化ということについては、そのITの人材確保というのをしなければならないので、その辺

のところも国と都と、その話し合いをしてまいったところです。

学習支援ソフトの利用等についての財政支援、それから ICT 機器の活用のために必要な支援等々、これらの財政支援も行わせていただいているところです。

また、今後とも TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの実現、そして来年度から一人1台ということに、この端末の活用が本格化されますので、これらの支援をしてまいりたいと考えています。これからはオンラインと、それからリアルの両方なんだろうというふうに考えております。

それからコロナについては、今日は保健所長がお越しいただいておりますけど、本当に御苦労様でございます。コロナウイルスとそれからインフルエンザの同時流行がどのような状況をもたらすのか等々見据えまして、地域の実情に応じて診療、そして検査医療機関の設置も進めていきたいと考えております。

都医師会、そして市の方の地区の医師会と連携を進めていくということで、検査体制の整備を更に進める必要があると思いますし、また、発熱患者さん用に適切な医療機関、速やかに案内をしていく必要がございます。情報の共有を、診療や検査医療機関についての情報を保健所、地区医師会、医療機関で共有できるように、このあたりのネットワークをしっかりと、改めて構築する必要がございます。

それから休日や夜間診療体制の確保も必要であって、主体的に事業を展開していただいているところでありますけれども、この事業については財政支援を行っておりますので、引き続き市民の皆さんに安心していただけるような体制づくりを進めてまいるといふことでもあります。

それから検査体制とそれからその後、例えば重症化リスクのある方々、特に高齢者ですね、既往症のある方。今回、政令の変更がございました。そこで明確に高齢者、既往症のある方は病院、そしてまた軽症、無症状の方は療養施設ということで、かなり明確化されておりますので、八王子の方でも療養所、ホテルを確保していたわけでございますけど、できるだけ風評被害が出ないような形で進めていくためにも正しい情報をお伝えしていきたいと考えています。

それからペットと一緒に療養できる施設がスタートして、猫ちゃん、ワンちゃん、まだウサギとハムスターはいないですけれども、既に活用しております。若干場所は八王子からは遠いかもしれませんが、やはり感染の拡大を防止するという観点から、そちらの方も御活用いただけるように、是非保健所としてその情報の共有、また、活用をよろしくお願いをいたします。

それから都市整備については副知事の方からお話させていただきます。

**○副知事** それでは都有資産の利活用とまちづくりについて、幾つか私の方からお答えをさせていただきますと存じます。

まずひよどり山を中心といたしました旧大谷用地の関係でございますけど、三宅島の災害対策以来、大変お世話になっております。市が目指す新たな農とみどりの空間の保全等につきまして、引き続き都としても市の方へ技術的な御支援等を行わせていただきまし

て、後押しをさせていただきたいと考えております。

次に加住町・宮下町地区の関係でございますけれども、都有地と民有地がかなり複雑に入り混じっている等の現況がございますが、地域の動向について情報を提供いただくとともに、市の御意向も踏まえながら本件地の今後の利活用のあるべき方向を見定めてまいりたいと考えておりますので、改めて都の関係部署でいろいろ御相談をさせていただきたいというふうに思っております。

次に長房団地や中野団地をはじめとした、都営住宅の建替えに伴う創出用地の利活用についてでございます。市のお話を伺いながら今後も方向性を更に詰めていきたいと思っておりますけれども、既存都営住宅の空き店舗については、これは市の活用の御意向があれば当該店舗の所有者にその意向を伝える等の協力をしていきたいと思っております。大変、今、都営住宅の店舗は歯抜け状態になるようなことで、本当に今後どう活用していくか、非常に重要な課題であると思っております。

また、空き住戸につきましては、水害時の緊急避難先としても活用する協定を結ばせていただいたところでございます。今後とも市の防災施策とも連携する等、都営住宅ストックの有効活用を図ってまいりたいと思っております。

次に日本遺産関係でございます。滝山城跡を含む都立滝山公園につきましては、樹林地の整備や、遺構の解説板の設置等の取組を進めていくとともに、お話にもございました、保存活用計画の策定に向けて取組を前進させてまいりたいと考えております。

今はあれですけど、外国人観光客にも大人気であります、高尾山周辺の環境整備でございますけれども、都立高尾陣場自然公園の歩道の改修を行う等、更に管理を適切に進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

**○行政部長** それでは石森市長、今のお話を受けていかがでございましょうか。

**○八王子市長** なかなかこれまでの土地の利活用等については、先に進めてこなかったという実態がございますので、是非また我々からもしっかりとした計画を示させていただきたいと思っておりますので、都の方でも御支援をいただければと、そのように願っています。

日本遺産でございますけれども、やはりオリンピック前に100か所、文化庁の方で認定するというところでスタートしたんですね。多分オリンピックの際には外国の方がかなり東京にお越しになる、それを受けてできるだけ日本全体に満遍なく外国人の皆さんを招き入れようということで、この日本遺産認定というのがスタートしたと思うんですね。

ただ、東京都も日本遺産認定に向けて、東京都内の自治体はこれまで盛り上がってこなかったところがあって、その中で東京都からも一つは何とか認定を目指そうじゃないかというので、八王子で実はスタートして、二年間いろいろ構想を練ながら計画を立ててそうやってきて、ようやく認定を受けることになりました。

本来であれば、コロナがなければ、もっと大々的にPR活動する予定ではあったんですけども、これから着実に、八王子のみならず東京都の大変貴重な遺産だと思っておりますので、是非東京都の力も借りながら、できるだけ活性化を図っていききたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思っております。

○知事 せっかくお越しいただいているので。

○行政部長 それではよろしく願いいたします。

○渡邊保健所長 幸い、八王子市は医療機関と医師会との連携・協力体制ということは十分できている、有り難いところだなというふうに思っております。保健師、非常に忙しい中、それこそプライドを持って日々仕事をしているところでございます。

今後に向けてですけれど、八王子市といたしましては他部署の保健師もかなりスピーディに応援体制をとってもらえたということも、中核市としてのアドバンテージだったなというふうに思っております。

今後そういう保健師の資質を上げるというところを、是非御協力いただきたいというふうに思っております。特別区も含めまして、私ども医師はそういう交流があるんですけども、保健師も東京都や特別区も含めた形での交流を少し進めていただきますと、底辺の力が上がるかなど。危機管理における保健師の立ち位置が上がる、そのような仕組みを都として構築していただけると、大変有り難いというふうに思っております。よろしく願いします。

○行政部長 どうもありがとうございます。それでは最後に知事からお願いいたします。

○知事 本当にコロナなければとつくづく思いますが、以前、流鏝馬ね。ああいうイベント等も非常に魅力的ですし、まずは来年のオリンピック・パラリンピックが安全・安心に開けるように、そこを目標に様々コロナ対策をしっかりとやっていかなければなりません。また御協力よろしく願いします。

それから、例えば自宅で療養をする一人暮らしの方は、できるだけ療養施設にお入りいただくのがよろしいんですけども、そういった時の健康観察のために ICT を活用するというので、それで連携・連絡を取ってもらう方法で、できるだけ保健師さんの皆さんの負荷を減らすということも、ICT を使っていこうといういろいろ試みも行っておりますので、是非横展開という形でそれを活用していただければ、より効果的になるかと思います。

今日この後、西村大臣の所に1都3県の知事がまいりまして、水際対策を効率的に、効果的にやってほしいということを申し入れに行っておりまいます。

COCOA で大変だったって聞きました。一時期。

○渡邊保健所長 はい。8月末から9月一杯がかなりひっ迫した状況でございまして、相談も本当に、月曜日は50件、60件、1日に入りまして、保健所が行う検査の3分の1をCOCOAが占めたことがあります。ただ、アプリの改定後は、10月以降は大変そこが整理されたことで、落ち着いてきております。

○知事 本当現場で頑張っている皆さん、効率的かつ都民の安心・安全と、コロナの拡大防止と、大きな課題ばかりですけど、また引き続きよろしく願いをいたします。

また、長期戦略として、やはり今後コロナを考えますと、様々これから新しい発想等が必要になってくるかと思っておりますので、またいろいろ御意見をお聞かせいただければと思

ておりますので、よろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

○八王子市長 ありがとうございました。

○渡邊保健所長 ありがとうございました。

○行政部長 以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。